学校通信　NO5　　文責　校長　和田義則

受験に向かう保護者の思い　（これから受験に向かう保護者の皆様へ）

いよいよ受験生である3年生にとっては、最後となる公立高校一般入試が終わります。受験は生徒が受けますが、その選択と決定の過程で、保護者の方には、心配する思い、応援する思い等、子どもと一緒に受験に向かう思いがあります。そこで3年生の保護者（PTA役員等）の方に受験生の保護者としての思いを書いていただきました。今後受験生をもつ保護者の方に少しでも参考になればと思います。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。また、3月に本校PTA成人委員会の家庭教育学級の閉級式（テーマ　受験について）を行う予定でしたが、感染防止のために中止となりました。そのために、今回の学校通信は閉級式の代わりとして作成しました。成人委員会の皆様、1年間お疲れ様でした。ありがとうございました。

1、お子さんの受験校選択と最終決定において苦労したこと、決めてとなったことはどんなことですか。

・本人の目標や意向が定まらず、成績も不安定だった。親としては幾つか体験入学に行き、高校生活をイメージして欲しかったが思うように行けなかった。最終的には、体験入学に行った高校に行きたいと決定しました。

・本人の意志で学習塾には行かなかったのですが、思うような成績が出ず悩みました。我が家は公立高校入学を第一希望としていた為、通学に要する時間や手段を基に本人と相談し志望校を決め、決める事で本人の”やる気”を伸ばせた気がします。

・本人の学力に見合った学校で通いやすい場所にあること。大学進学のために努力できる環境があること。

・受験希望の体験入学には私も一緒に参加し、校風や特色を知った上で共に考えたり、アドバイスが出来た事はよかった。最終的には、中学入学当初より憧れていた高校を受験しました。

・親の思いと子供の思いは違います。先のことを考えてこの高校は？と、アドバイスをしますが子供の気持ちが乗りません。最終的には子供の受けたい高校を応援することにしました。

・何度も家族で話し合いケンカしました。最終決定などは全て本人が決めました。

・将来の目標が決まっていないので、今の子供の体力や学力を考え、楽しく学校生活を送れそうな高校を選択しました。公立に関しては説明会の時の先生方の雰囲気も参考になりました。

・ずっと志望校を決めきれず何度聞いてもだまっているだけで、何を考えているのかどうしたいのか話してくれませんでした。最終的に内申点と偏差値で考えて、合格できそうな高校に決めました。

・「将来、何になりたいか。」と、まず高校はその一歩だと話しました。まだ中学2年生ですが、高校について自分で色々と調べて決めていました。子供の意志を尊重したいと私は思ってます。

・高校卒業後の進路と子どもの学力に合わせて選んでいきました。合格安全圏に達するように学力アップに注力しました。

・子供の学力が思うように伸びず苦労しました。最終決定は子供の学力に合致した事と志望校先でやりたい事が（部活動…）明確だった点です。

・行きたい学校も、なりたい仕事もなく学校決定には悩みました。最終的に学力と相談しながら、「もしかしたら興味をもつかも。」と期待をもちながら最後はやっぱり本人が納得した学校に決定しました。

2、お子さんの受験勉強において、気を付けたことはどんなことですか。

・常に前向きな言葉がけを心掛けました。追い込まないように気を付けていました。子供に全て任せていました。

・コロナ対策。家族全員で体調管理を徹底し、家でも食事以外マスクを着用。親も外出時の感染予防や人が多い所には行かない。心を強く持つこと。

・なるべく口出しせず、”しないといけない”という思いは本人が一番自覚していたので、”しよう！”と思うようになるまでは見守りました。

・勉強時間を確保する様に、携帯の使用時間を何時までと自身で判断する声掛けを行いました。無理強いではなく本人の判断に任せる。

・食事や睡眠などを摂ること。正しい生活リズムで過ごすこと。食事を三食ちゃんと食べさせる。勉強する場所を整えること。

・できるだけ勉強時間についてなど言わないようにと思っていたが、生活態度を見ているとつい言ってしまった。

・なるべくいつも通りに明るく楽しく毎日過ごせるようにしました。体調を整えるため好きな料理を作ったりして、しっかり食べられる様にしました。

・学校や塾でとても頑張っていたので、家では自主的に勉強をし始めるまであまりうるさく言わないよう心掛けました。

・志望校は決まっていなかったが、行きたい高校が決まった時に内申点が足りなくてあきらめる事にならないように、声かけをしていました。

3、受験生のお子さんに対して、よかった声掛けや応援方法はどんなことですか。

・塾から帰ってきて「お疲れ！」の声かけと、温かい食事を準備していました。ずっと勉強はつらいと思うので、時々何もしない日を作りました。

・よかったと思える声掛けはできませんでしたが、自分のペースでやっていこうと伝えていました。時には子供は勉強、私は仕事のまとめで机を並べて学習することもあり、一緒に頑張ろうとお互いをはげますこともありました。

・長所を本人に伝える。モチベーションが下がらないようにする。プレッシャーを与えない。家ではいつも明るく落ち着く空間の提供など

・いつも通り過ごすこと。勉強のことだけではなく、お互いに色々な話をして会話を楽しみました。

・「勉強しなさい」「早くしなさい」はやめて、「何時から勉強する予定？」「今日は何の勉強するの？」等自己決定できる声掛けしました。

・高校は人生の通過点で、ゴールでは無い。もし目標が見つからなくても高校で見つけたら良いので、まずは行きたい高校へ行くべきと声かけをした。

・塾ではよく勉強していたようですが、家ではゲームばかりしていて「勉強しろ。」ばっかり言ってしまい、あまりいい声掛けや応援はしてませんでした。でも言わずにはいられませんでした…。
・前向きでプラスの声かけが効果的であることは理解しているのですが、本人があまりにも楽観的かつ危機感を持って取り組まないので、良い声掛けは出来ませんでした。反省しています。

・自分はうまくいかなかったが、テストの結果が返った時はそのたびにそこまでがんばった過程をほめることだと思う。

・不安や緊張で体調を崩しやすいので、普段通りの生活をしていました。毎日なるべく同じリズムで動けるようにサポートしたつもりです。

・模試の結果が良くても悪くても、努力していればほめるようにしていました。私は心に寄り添ってあげる事が一番だと思います。

・高校卒業した後どうしたいのかという話をよくしていたので、何となくですが、どこの高校に行ってどういう風に過ごすのかをイメージしやすかったと思います。

・あまり声掛けはしていませんが、塾から帰って来た時は「今日も一日おつかれ」と声かけしました。私立入試の日に帰って来たときは、「今日だけ好きなことしていいよ、また明日から頑張ろう」と声かけしました。

・テストで良い結果が出せたり、検定を受けようとする意欲が出て合格する事が出来た時など、一緒にとても喜んだ。

4、1.・2年生の保護者の方へメッセージがあればお願いします。

・親も子もナーバスになりがちですが、明るい表情で接することを心掛けて下さい。

・受験は少し先のことと思っていましたが、夏からはあっという間でした。オープンスクール等を活用して学区の高校のことをもっと知っておけばよかったと思います。
・中学校の3年間本当にあっという間です。お子さんの今は今の一瞬しかありませんので、プチ反抗期時期の子供が嫌がっても、とにかくたくさん話し掛けてあげて下さい。
・中学校で出される宿題や課題に一つ一つ真面目に向き合うことで、学力や考える力が成長していったように思います。

・1.2年生のうちから高校について話し合いをしていた方が良いと思いました。話をすることで目標が見えてくると思います。行きたい高校、目標がないとなかなか勉強に身が入りません。子供との話し合いは大切だと感じました。

・上の子も大学受験でW受験でした。あまり1人にかかりきりになれず、かまってやれませんでしたが、ちゃんと行きたい所を自分で見つけ成長を感じました。受けるだけでお金がかかるのにはまいりましたが（泣）、行きたい所をみつけた時に困らないように勉強してほしいと思います。

・信じて見守ることが本当に難しいと思います。ついつい言い過ぎてしまうことも多いですがその子に適した応援をされて下さい。その時々で状況は変わりますし、正解はないと思います。

・どんな形であれ、最終的に子どもが行きたいと思う高校へ行けるよう親として何ができるかを考えながら一緒に乗り切ってほしいと思います。子ども自身も当日までいろいろ考えて行動していました。友だちの影響や支えも大きいようなので、親以外の相談相手がたくさんいるといいなと思いました。

・コロナの影響などで受験や高校の情報収集が難しいと思います。可能なかぎり説明会やオープンスクールに早めに行くことをお薦めします。

・あまり気負わずに一歩くらい下がって見守っていけたら良いかなと思いました。子供の人生なので本人が行きたい学校を見つけられるように手助け出来たら花丸ですよ。

・兄妹でも一人一人性格が違って受験に向かう姿勢も違うので、その都度共にそばで一緒にがんばったり支えたりしていきたいと自分は思います。

・公立でも私立でも高校によって色々な取り組みをされているので、子供に合った学校を選べばと思います。

・やりたい事が見つかった子にはそれをひたすら応援する。見つからない子にはとにかく勉強させる。選択肢を広げてあげる。

・子供は初めての受験となります。不安をあたえない事が大事かと思います。モチベーションが上がる声掛けが大切なのかと思いました。